

「その先の道を切り拓く
北海道人」を育む

胆振管内教育推進テーマ

子どもの可能性を最大限に
引き出す学校づくり～「学
び」のつながりを支える学
校経営～

令和6年度 苫小牧市立緑陵中学校グランドデザイン

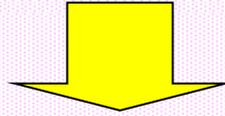
未来の社会をつくる
ひとつづくり

○苫小牧市学校
教育推進の重点

小中学校の9年間の確か
な成長を目指して
～生きてはたらく力を身
に付けた15歳の苫小牧
っ子～

学校教育目標

- 学ぶ力を育む生徒（知）
- 豊かな心を育む生徒（徳）
- 健康な体を育む生徒（体）



学校スローガン チーム緑陵II ～ベクトルを一つに、「目的の共有」「つながり」「推進」～

学校経営の重点方針

- 目的の共有、学級・学年・分掌間でのつながり・調整
- 苫小牧市共通取組事項に基づく授業改善の推進
- 働き方改革の推進
- 学校と地域の連携・協働の推進（学校運営協議会との連携）

目指す 学校像

- 学ぶ意欲を育て、基礎・基本の定着と学力向上を目指す学校
- 生徒の良い面を伸ばせる学校
- 明るい挨拶のある学校
- 共に、互いを認め、思いやり・感謝・協調性を育む学校
- 子どもたちが肯定的に安心・安全に過ごせる学校
- 家庭・地域に信頼され、開かれた学校

目指す 生徒像

- 進んで学び、粘り強く取り組む子ども
- 進んで挨拶をする子ども
- 互いを認め、協力し合い、思いやれる子ども
- 自分（命）を大切にできる子ども
- 進んで体を動かし鍛える子ども

目指す 教職員像

- 生徒の良い面を伸ばし、学び続ける教師
- 同僚性と協働性を高め合う教師
- 生徒・保護者・地域に信頼される教師

経営の重点

○ 確かな学力の定着

- 授業改善
・「課題」「まとめ」「振り返り」
・苫小牧市共通取組事項
- ICT機器の積極的な活用
- 資質能力の育成
・教科横断的な取組
- 指導と評価の一体化
- 家庭学習習慣の確立
- Tomakomai ALL9の促進

○ 特別支援教育

- 個に応じた適切な教育課程の編成
- 連続性のある多様な学びの整備と一貫した支援体制
- 一人一人の可能性の伸張
- 自立に必要な力の育成
- 交流及び共同学習の充実
- 全校体制での支援の確立
- 全教員を対象とした研修の推進

○ 豊かな心の育成

- 挨拶・多様性の尊重・思いやり・協調性・命を大切にできる心・粘り強さの育成
- 安心・安全に過ごし「居場所」のある学級・学年づくり
- 「自己肯定感」や充実感、主体的に行動できる教育活動の推進
- 生徒会を主体とした「いじめ防止」に取り組む活動の推進

○ 生徒指導

- 発達支持的生徒指導
- 課題未然防止教育
- 課題早期発見対応
- いじめは絶対に許さない指導体制
- 「いじめ見逃し0」
- 生徒指導委員会を中心とした不登校生徒への適切な支援
- 望ましい電子メディアの利活用に向けた啓蒙活動の推進
- SOS教育の実施

○ 健康教育・体力向上

- 「できた、上達した」喜びを実感し、向上意欲を高める保健体育授業
- 新体力テストの結果分析による体力向上の取組、運動やスポーツに親しむ機会の設定
- 家庭と連携した望ましい生活習慣・食生活の確立

○ 地域との連携

- 学校運営協議会との交流・推進・子どもたちを学校・家庭・地域全体で守り育てる体制の推進
- 地域の一員としての意識を身につけさせる指導の推進
- 地域の人材や関係機関、文化財等を活用した学習の推進

○ 働き方改革の推進

- 北海道アクションプランに基づく働き方改革の推進
- 働き方推進チーム(コアチーム)を中心とした業務内容の改善
- 部活動休養日の完全実施、練習時間の適正化
- 学校閉庁日、定時退勤日の推進
- ICTの有効的な活用